

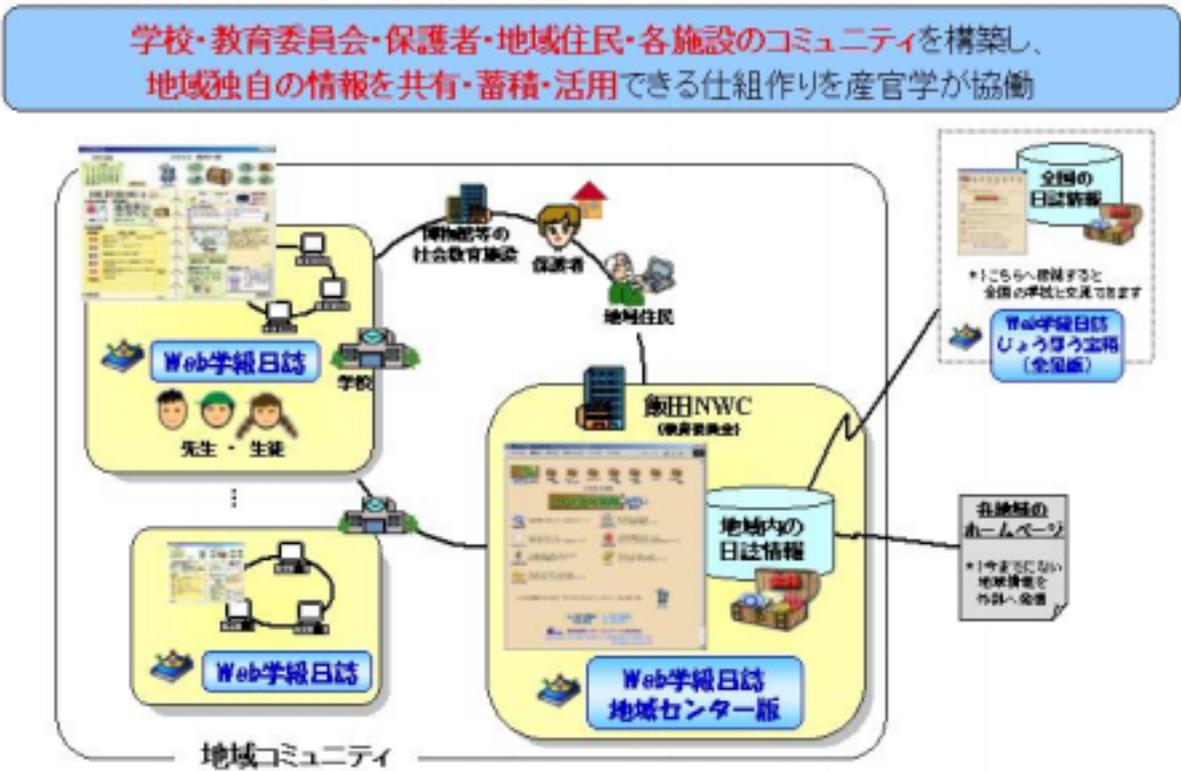
産官学協働 - 地域密着の情報活用と日常交流 -

飯田コンピュータ専門学校 高橋 伸幸

1. WEB 学級日誌地域センター版開発プロジェクト全体図

飯田市教育委員会はバディ・コミュニケーションの教育用ソフト「WEB 学級日誌」の地域センター版サーバーを飯田ネットワークセンター内で運用することにより、普通教室におけるパソコンの活用、学級情報の地域家庭への発信などの取り組みを行うことになった。学級の日常生活の有様がネットワークで見られる仕組みを上手に利用できるように産官学がそれぞれの立場で協力し合って行きたいと考えている。

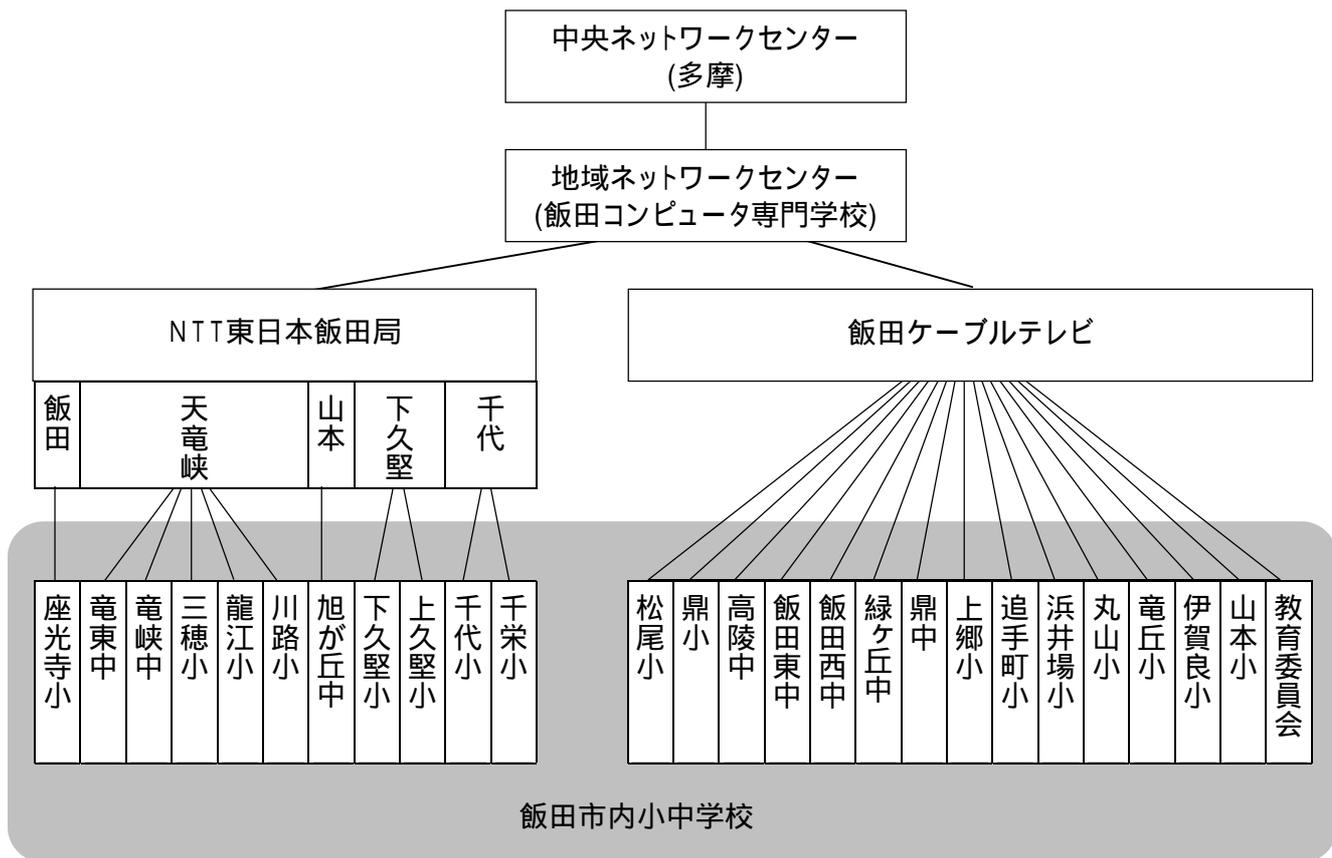
プロジェクトのイメージ



2. プロジェクトの背景

(1). 飯田市の状況

長野県内で南部の飯田市は県の北部に比較してインターネット接続環境の整備が遅れていたが、平成13年2月に学校インターネット事業(文部科学省と総務省が連携して進めている学校間のネットワークの整備事業)の指定を受け、教育用ネットワークのブロードバンド化を整備した。同時に設置された飯田地域ネットワークセンターのサーバー設備を活用しながら教育現場のネットワーク利用、教育資源のデジタル化を進めることができるようになった。同時にネットディ飯田の支援を受けて、普通教室へのLAN配線の整備が急速に進んできており、多くの普通教室、特別教室で学校インターネットへの接続、インターネット利用が可能になってきた。さらに平成14年度で市内小中学校の全コンピュータ教室の更新が完了し、新しくなった機種と引き換えに発生した大量の旧機種の再利用方法として普通教室へ配備が検討されており、普通教室で再配備されたパソコンを活用していくためのソフトウェアが求められている状況となっている。平成14年10月WEB学級日誌の販売代理店である地元企業の飯田精機からバディ・コミュニケーション(株)のWEB学級日誌という製品の紹介を受けた。飯田市教育委員会が後援する教育の情報化研究大会に参加、出展が得られた。バディ・コミュニケーションのスタッフと直接交流ができたことで、普通教室でのパソコンの活用を模索していた飯田市教育委員会は飯田ネットワークセンターのセンター設備を利用することで地域対応型のWEB学級日誌を試用するという機会を生かせることになった。



ネットディによる校内 LAN の整備



大量の旧型機種を活用

3. 研究テーマ

学級日誌の情報を地域・家庭という身近なコミュニティと共有することでどんな利用方法があるのか。細かい内容は試験学級として選定された各学級の先生に任せるが、大きく2つのテーマを設定してみた。

(1). 家庭・地域と学級間の情報交流

学級の保護者や学校にかかわりのある地域住民などにタイムリーに公開すること試みる。学級の生の情報が直接、公開することで懸念される運用上の問題も含めて試行してみたいと考えている。

(2). 学級にいない児童との情報交流

不登校や院内学級の児童生徒など学級に来ることのできない子どもたちとの交流、コミュニケーションに試行してみたいと考えている。